

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果分析【行田市】

## 調査概要

- 【調査日時】令和6年4月18日（木）  
 【調査事項】①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、〕、質問紙調査  
 ②学校：質問紙調査  
 【調査対象】小学校第6学年・中学校第3学年

## 教科に関する調査結果

小学校第6学年

正答率（単位％）

調査科目	行田市	埼玉県	全国
国語	65.0	69.0	67.7
算数	59.0	64.0	63.4

### 【国語】

学習指導要領の内容		行田市	埼玉県	全国
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	59.6	66.2	64.4
	(2) 情報の扱い方に関する事項	83.3	87.5	86.9
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	74.8	75.3	74.6
思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	55.6	61.6	59.8
	B 書くこと	66.6	69.2	68.4
	C 読むこと	70.1	72.0	70.7

- ・目的や意図、話し手の目的や意図、聞き手の求めていることに応じて、話す際の材料を集め、分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題が見られる。目的や意図を児童に理解させるとともに、実際に伝え合う活動や振り返りを充実させることが必要と考えられる。
- ・文法に関する理解に課題が見られるため、文章を読む際に、主語となる語句に注目できるような問いを設定する。小学3・4年生の内容となるので、高学年においても適宜復習し、理解の定着を図る。

### 【算数】

学習指導要領の領域	行田市	埼玉県	全国
A 数と計算	61.0	66.2	66.0
B 図形	62.8	67.1	66.3
C 測定	—	—	—
C 変化と関係	45.3	51.7	51.7
D データの活用	57.4	62.6	61.8

- ・基本的な計算の技能に課題が見られるため、適用問題の時間を明確に設定し、A I ドリル等も活用しながら児童一人一人の課題に応じた問題に取り組ませる。
- ・記述式の問題、解法に関する複数の考えを基に答える問題に課題が見られるため、日頃の授業において他者の考えを理解する力の育成が必要となる。授業の中で、自他の考えの違いに気付かせたり、他者の考え方を説明させたりといった場면을意図的に設定する。協働的な学び、ICT活用の視点を大切にした授業改善が必要であると考えられる。

調査科目	行田市	埼玉県	全国
国語	55.0	59.0	58.1
数学	47.0	53.0	52.5

【国語】

学習指導要領の内容		行田市	埼玉県	全国
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	53.5	59.7	59.2
	(2) 情報の扱い方に関する事項	54.6	60.2	59.6
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	75.6	75.2	75.6
思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	54.4	60.5	58.8
	B 書くこと	64.4	66.8	65.3
	C 読むこと	46.0	49.2	47.9

- ・複数の発言が、どのような資料を根拠とした発言なのかを読み取ることに課題が見られる。「話す・聞く」の学習の中で、資料を読み取ったり、根拠を明確にして発表をしたりする経験の充実が必要である。
  - ・「修飾語」の役割についての理解が不十分であるため、文法に関する内容について重点的に扱う必要がある。文法の単元は時数も短いため、他の単元の中でも適宜扱い、復習することが必要である。
- ※小学校においても同様の課題が見られる。小・中学校の系統性を意識した授業づくりが求められる。
- 「物語」や「説明文」を読み取ったり、自分の考えを記述したりする部分は比較的全国平均と近い正答率になっているため、「話す・聞く」「文法」単元の授業改善が求められる。

【数学】

学習指導要領の領域	行田市	埼玉県	全国
A 数と式	44.2	51.1	51.1
B 図形	34.0	42.4	40.3
C 関数	57.4	61.1	60.7
D データの活用	48.0	57.1	55.5

- ・記述式の問題の無回答率が高く、考え方や理由を記述することに苦手を感じていると考えられる。協働的な学びを促し、生徒が自身の考えを伝えたり、他者からの意見をもとに考えを深めたりする授業展開の工夫が必要である。
- ・昨年度と同様に「四分位範囲」についての理解に課題が見られる。配当時数が少ない内容となっているが、市の課題であることを認識し、重点的に扱うことが必要である。

## 質問紙に関する調査結果（一部抜粋）

※「当てはまる（できている、している）」「どちらかといえば、当てはまる（できている、している）」を合わせた値

小学校

（単位％）

質問事項	行田市	埼玉県	全国
1 自分にはよいところがあると思う	86.0	85.9	84.1
2 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う	92.9	93.0	89.9
3 将来の夢や目標を持っている	86.7	83.6	82.4
4 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	73.3	78.4	75.8
5 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている	81.7	83.3	80.7
6 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	72.3	73.3	67.6
7 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	86.3	88.1	81.3
8 自分の学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	89.8	89.4	84.2
9 今までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した	37.7	63.5	59.5
10 PC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	77.3	88.7	86.1

質 問 事 項	行田市	埼玉県	全国
1 自分にはよいところがあると思う	82.6	84.7	83.3
2 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う	93.2	93.9	90.4
3 将来の夢や目標を持っている	67.4	68.0	66.3
4 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	71.4	78.1	76.2
5 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。	76.2	80.7	78.6
6 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	62.5	71.8	64.8
7 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	82.6	89.1	82.2
8 自分の学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	90.6	90.9	86.3
9 今までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、週3回以上使用した	29.9	66.7	64.4
10 PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	74.4	87.3	86.2

- ・「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」といった非認知能力やキャリアに関する質問紙において、肯定的な回答が多い。先生からよいところを認めてもらう機会が多いことが、これらの結果につながっていると考えられる。
- ・「自分と違う考えについて考えることが楽しい」という項目において、肯定的な回答が少ない。ICTを活用して友達と考えを共有したり、比べたりする経験が不足していると考えられる。授業者がICTを使用するだけでなく、学習者が使用することや、家庭学習にもICTを活用することが重要であると考ええる。